

マンモグラフィ検査

マンモグラフィは乳房のレントゲン(軟線)撮影です。乳房を機械ではさみこんだ状態で撮影を行います。乳房のしこり(腫瘤)があれば描出されます。また、非浸潤がんのような比較的早期の段階の乳がんは、腫瘤として指摘することができず、石灰化(カルシウム沈着)のみを認めることがあり、マンモグラフィで検出することが出来ます。しかし、年齢の若い方は乳腺が多いためにマンモグラフィによる検査では腫瘤などの診断が困難な場合があり、その場合には超音波検査が有効なことがあります。

マンモグラフィの読影に関しては、ガイドラインに沿って行ないます。腫瘤があれば辺縁の性状をみたり、石灰化があればその形態や分布などを見て総合的に診断します。診断の結果は、カテゴリー分類で行い、5段階評価で表現いたします。一般的に、カテゴリー1 または2は良性で、カテゴリー3以上は乳がんの疑いもあり要精査になります。